

# 第56回全国学校保健・学校医大会 in 神奈川



理事 當間 隆也



令和7年11月22日（土）、「子どもたちの健康を守る～生まれてから成人まで～」をメインテーマに、第56回全国学校保健・学校医大会 in 神奈川が、パシフィコ横浜で開催されました。概要と感想を紹介します。

午前中は分科会でした。「からだ・こころ」の3つと耳鼻咽喉科、眼科があり、計5つの分科会です。会場を歩き来して、学校健診や5歳児健診に関する演題を聞きました。

「原則着衣」の課題、児童生徒のプライバシーや心情に配慮した学校健診、学校健診方法の統一、不登校児の健康診断、5歳児健診等の演題を拝聴しました。

学校健診に関しては、プライバシー保護が過剰に優先されるため、上半身脱衣を原則として行われていた学校健診が変わって、学校医は診察の負担が大きくなり診察の精度に不安を感じていること、学校医に意見を聞いて教育委員会

と協議の上健診方法の統一を図っていること、学校現場との意思疎通をより行っていく必要があること、等の報告がありました。

5歳児健診については、集団方式、巡回方式、抽出方式、園医方式、あるいはそれらの混合型で健診が行われており市町村によって異なること、課題として、小児科医の確保や集団遊びの項目の選定、健診後の支援体制、支援の質の担保、就学後の支援や教育委員会との連携などがあげられていました。

全国どこでも同様の問題を抱えており、統一した解決策はない事がよくわかりました。ただ、各医師会がそれぞれの課題に対して非常に熱心に取り組み工夫されており、とても刺激を受けました。沖縄県医師会も、課題ごとにチームを作って取り組めれば良いな～とは思いましたが、まずはマンパワー不足が解決すべき課題です。

午後は、全体シンポジウムでした。参議院議員の自見はなこ先生からは「こども家庭庁の創設について」のテーマで、子どもたちのウェルビーイングと学校保健等について共に考えていきたいとお話がありました。

また、日本医師会常任理事の渡辺弘司先生からは「学校保健、学校医について日医の考え方」と題し、日本医師会としては、全国の学校保健体制が可能な限り均質な質を保持できる体制が望ましいと考えていること、「理想」が書かれている法制度・施行規則を「現実」に合った記載にしたい、等のお話がありました。

「乳幼児健診と子どもたちの健康について」は5歳児健診のお話でした。5歳児健診の目的は、発達、情緒面、及び成長障害などの疾患の早期発見であること、学校医の先生方に期待される役割等について述べられていました。沖縄県では、小児保健協会が中心となり着々と準備が進められています。

「眼科領域における子どもたちの健康について」では、乳幼児期の視覚系は未熟で些細な異常により容易に発達が阻害されること、学童期になる前に適切な治療をされないと眼鏡などで矯正しても視力が十分に得られない弱視となってしまうこと、その為に異常を早期に発見し治療することが必要であること、弱視を予防するために眼科医が実施している取り組み等の報告がありました。今年度の第50回沖縄県学校保健・学校医大会でもメッセージを発信いたします。

「児童精神科領域における子どもたちの健康について」では、児童精神科診療は全国的に逼迫しているが、受診や通院の継続は保護者に明確な問題意識や受診希望がなければ困難であること、教師が学校医への受診を勧めることで学校医を介して学校と専門医療機関が繋がる事が出来る等のお話がありました。児童精神科の役割は、子どもの気持ちを受け止めて、子ども自身の治療意欲や主体性を育む支援を行うこと、というお言葉に共感しました。昨年度の小中高生の自殺者数は過去最多となっており、子

どもの心の問題は深刻です。県医師会として、もっと積極的に有効な関わり方を模索検討していきます。

「教育委員会における子どもたちの健康について」は、神奈川県教育委員会課長からのお話でした。VR技術を使った実践的避難訓練や運動不足に対する運動遊び教室の開催等、「学校安全教育」のお話でしたが、大変面白く勉強になりました。ただ、個人的には、現在問題となっている学校健診等学校保健に対して現場である学校、先生方はどういった意見を持っているのか、というお話を期待していましたので、ちょっと残念でした。

特別講演では、物理学者である野村泰紀教授が、「宇宙はたくさんあるのか!？」と題し講演されました。難解な超ひも理論等を1時間超、優しく？お話しして下さったのですが、みんな首をひねりつつも一生懸命聞き入っていました。現実を離れ広大な宇宙に思いをはせる、大変面白い経験でした。

「宇宙はたくさんあるのか」への回答ですが、「宇宙は一つの泡に過ぎず、新しい泡（宇宙）はたくさん作られ続けている（マルチバース）。我々の宇宙は、たくさんある宇宙（泡）の一つに過ぎない。」という結論だったと思います。宇宙から見ると、我々は思っているより取るに足りない存在とお話もありました。解釈に誤りがあったとしてもご容赦お願いいたします。



令和7年度 第56回全国学校保健・学校医大会  
 メインテーマ 「子どもたちの健康を守る～生まれてから成人まで～」

日 時 令和7年11月22日(土) 午前10時～ ※後日、オンデマンド配信  
 会 場 パシフィコ横浜ノース (横浜市西区みなとみらい TEL 045-221-2155)  
 懇親会会場 横浜ベイホテル東急 (横浜市西区みなとみらい TEL 045-682-2222)  
 主 催 日本医師会  
 担 当 神奈川県医師会  
 参 加 者 日本医師会会員及び学校保健に関係のある専門職の者  
 参 加 費 20,000円(懇親会費含む) ※懇親会に参加される同伴者は5,000円  
 日 程

9:00	【受付】	4階
10:00	【分科会】 第1分科会「からだ・こころ(1)」 第2分科会「からだ・こころ(2)」 第3分科会「からだ・こころ(3)」 第4分科会「耳鼻咽喉科」 第5分科会「眼科」	4階 G404 4階 G403 4階 G402 4階 G401 4階 G412・413
12:00	【昼食】 【都道府県医師会連絡会議】	(各分科会会場等) 1階 G7
13:00	【開会式・表彰式】 【次期担当医師会長挨拶】	1階 G5・6
14:00	■講演 座長 神奈川県医師会 副会長 ①こども家庭庁の創設について ～成育基本法と学校健診の未来の姿～ 参議院議員(小児科専門医・認定内科医) ②学校保健、学校医について日医の考え方 日本医師会 常任理事 ③乳幼児健診と子どもたちの健康について 日本医科大学武蔵小杉病院 小児科 教授 ④眼科領域における子どもたちの健康について 神奈川県眼科医会 会長 ⑤児童精神科領域における子どもたちの健康について 神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科 部長 ⑥教育委員会における子どもたちの健康について 神奈川県教育委員会 保健体育課長	1階 G5・6 笹生 正人 自見 はなこ 渡辺 弘司 田嶋 華子 宇津見 義一 庄 紀子 元橋 洋介
16:30	■特別講演 座長 神奈川県医師会 副会長 神奈川県医師会 理事 演題「宇宙はたくさんあるのか!?!」 講師 カリフォルニア大学バークレー校 教授 ラインウェバー理論物理学研究所 所長 ローレンス・バークレー国立研究所 上席研究員 物理学者(素粒子物理学論、量子重力理論、宇宙論)	恵比須 享 磯崎 哲男 野村 泰紀
17:40	【閉会】	
18:30 20:30	【懇親会】	横浜ベイホテル東急 B2階 クイーンズグランド ボールルーム